

もうかる魚類養殖を目指して

米糠を配合した低魚粉飼料の給餌による飼料コストの削減

近年、マダイ養殖の現場では、飼料の主原料である輸入魚粉の価格高騰により飼料コストが上昇しており、養殖業者の経営を圧迫しています。飼料コストを削減するためには、魚粉に代わる安価な原料を利用することが有効であることから、水産研究所では、県内で安価に入手できる米糠を配合した低魚粉飼料を開発しました。



◇米糠を配合した低魚粉飼料

米糠は米を精白する際に産生される副産物で、国内では年間約100万トン生産されています。この米糠を10%配合して低魚粉化を図った試験飼料(生エサ:配合飼料:米糠=5:4:1)と、対照飼料(生エサ:配合飼料=5:5)をマダイ1歳魚に給餌し、成長率や飼料コストを比較しました。



<米糠を配合した低魚粉飼料>

◇平均魚体重の推移

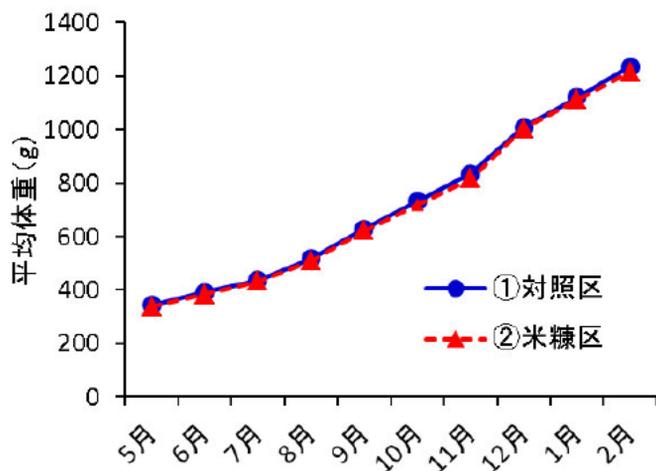


図1 対照飼料と、米糠を10%配合した低魚粉飼料を給餌したマダイの成長比較

◇飼料コスト削減効果

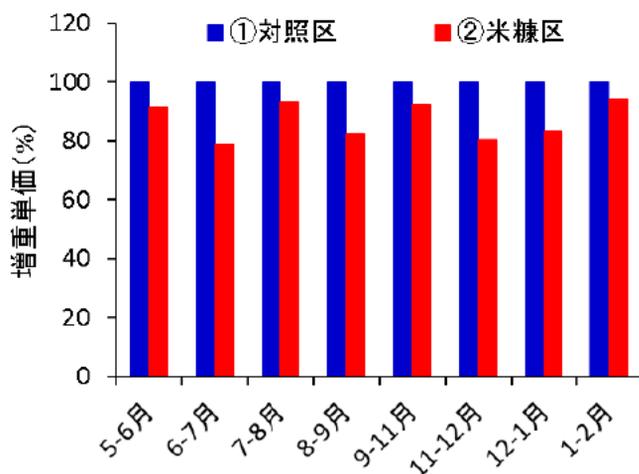


図2 低魚粉飼料を給餌した場合の増重単価(対照飼料を100とした場合の相対値)

1歳魚の5月～翌年2月に米糠を10%配合した低魚粉飼料を使用することで、成長に影響を与えることなく(図1)、飼料コストを約13%削減できることがわかりました(図2)。



三重県水産研究所 尾鷲水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute Owase Branch

〒519-3602 尾鷲市天満浦字古里215-2

TEL (0597)22-1438

FAX(0597)22-1439